



小学部交流①（小5・6年生）

小学部恒例の「レイモンド・バン・ベル校（以下、RV 校）」との交流会が始まりました。



今年度のトップバッターは5・6年生の高学年チームです。9月28日（月）の午前中、RV校を訪問して交流を深めました。



始まりの「挨拶」では、本校児童がフランス語・英語・日本語を、RV校の皆さんがフランス語・日本語を使い、互いの母語で言葉を交わす嬉しさを実感しました。その後は3グループに分かれ、「ビンゴや

数独（数字のパズル）などの教室
内ゲーム」「体育館でのレクリエーション」「手作りの神経衰弱や双六、ジェスチャーゲーム」に挑戦。



学校の垣根を越えて、どの活動も大いに盛り上がりました。昼食前の自由時間には、一緒に鬼ごっこをするなど自然な交流が続き、最後の「See you ceremony」では「次はJSBで会いましょう」と再会を約束しました。

初めての交流に最初は緊張していた児童も、時間を共にする中でいつもの笑顔を取り戻し、充実した国際交流のひとつとなりました。



音楽集会（小学部）

9月25日（金）の昼休み、小学部児童による「フランダース音楽祭集会」が体育館で開催されました。集会委員が企画したクイズとゲームに、児童たちは大いに盛り上がりました。クイズ係は本家の「フランダース音楽祭」にちなみ、開催時期（5～10月の長期開催）や場所、音楽の種類について3問を出題。地域の文化について楽しく学ぶきっかけとなりました。また、ゲーム係による「リズムゲーム」では、曲「さんぽ」に合わせて様々な拍手のリズムに挑戦し、だんだん難しくなるゲームに全員が夢中になって笑顔で取り組みました。短い時間ではありましたが、児童の主体性と笑顔が光る素敵な集会となりました。企画・運営を担当してくれた集会委員のみなさん、ありがとうございました。



令和8年度 生徒会役員選挙（中学部）



9月28日（月）の1時間目に、中学部による「令和8年度 生徒会役員選挙」が行われました。

今回選出されるのは、会長1名（2年生）、副会長2名（2年生1名・1年生1名）、書記2名（2年生1名・1年生1名）の計5名です。先週金

曜日までに選挙運動を終えた立候補者たちは、この日の立会演説会に臨みました。応援演説を含む「3分以内」という限られた時間の中で、学校への熱い思いや公約を堂々とアピールする姿が印象的でした。



この選挙には、「民主主義の仕組みを理解すること」、そして「自ら所属する生徒会を、主体的により良いものにしていこうとする自覚をもつこと」という2つの大きなねらいがあります。演説を聞く生徒たちも、一票の重みを真剣に受け止め、終始、公正で緊張感のある素晴らしい選挙をつくり上げてくれました。新たなリーダーたちを中心に、これからの中学部がどう発展していくのかとても楽しみです。

大先輩が来校されました！

9月25日（金）の午前、本校の卒業生であり、次期同窓会長に就任予定の方が、お嬢様と一緒に来校されました。本校に足を運ばれるのは小学校4年生の時以来、実に40年ぶりとお話でした。

校長室では、JSB時代の思い出が詰まった貴重な写真を何枚もご披露いただきました。現在の保健室があるエリアはまだ建設前で、グラウンドの北側には小さな高台があったことなど、当時の貴重な様子を教えていただきました。また、「同窓会として力になれることがあれば、ぜひ声をかけてください」という温かいお言葉も頂戴し、校舎をご案内した後は、事務室の「同窓会ノート」にメッセージを寄せていただきました。

本校を含め、多くの日本人学校では出会いと別れが頻繁に訪れます。しかし、たとえ在籍した期間は短くとも、私たちは「JSB」という共通の絆で結ばれています。先輩からいただいた温かいお言葉に触れ、その絆は何十年経っても色あせない大切なものであると、改めて強く感じさせられました。



校長のつぶやき「朝のあいさつ」

私は毎朝、正門で子どもたちを迎えています。「おはようございます!」と声をかけた時の反応から、その日の様子が少しずつ伝わってきます。「まだ眠たそうだな」「少し体調が悪いのかな」「しっかり朝ご飯を食べて元気いっぱいだな」といった毎日の「定点観測」だからこそ、小さな変化にも気づくことができます。

気持ちの良い朝のスタートは、充実した1日につながります。最近の朝の楽しみは、中学生によるあいさつ運動です。今朝もタミル語で「வணக்கம் (ワナッカム)」と声をかけていました。最初は「キョトン」とする小学生も多いようですが、あいさつを交わした後はみんなパッと明るい表情になります。学校全体を温かい空気で包んでくれる、本当に素敵な企画だと毎回感心しています。

